佐久本嗣男氏に名誉村民

沖縄の伝統と文化･空手を世界に発信

昨年９月に恩納村議会において、佐久本嗣男氏（恩納区出身）を名誉村民に推挙し、３月16日､恩納村ふれあい体験学習センターにおいて名誉村民推挙式が挙行されました。

式で長浜村長は「沖縄空手の普及に努めながら、多くの日本代表を輩出し、世界に誇る伝統文化・沖縄空手を国内外に発信し続けていることに敬意を表する」と祝辞を述べました。佐久本氏は「これからも村のため力の限り頑張ってきます」と話しました。

基調講演では、恩納小中学校の恩師や同級生との思い出を語り、会場から笑い声が起こりました。

祝賀会では、日本代表の喜友名諒選手、金城新選手、上村拓也選手など劉衛琉龍鳳会門下生の迫力ある演武に出席者らは真剣な表情で見入っていました。

恩納村名誉村民は、「お富さん」など多くの名曲を生み出した南恩納区の渡久地政信氏（昭和63年推挙）に続き２人目。

佐久本氏は1984年にオランダで開催された、第７回世界空手道選手権大会で個人型優勝、本大会を３連覇するなど、世界大会で５回の優勝を成し遂げました。

現役引退後は、世界空手連盟技術委員会委員長、県立芸術大学学長、県体育協会副会長など多くの要職に就き、現在は一般社団法人劉衛琉龍鳳会会長や日本オリンピック委員会強化スタッフ・コーチなど後進の指導に努めています。

入学おめでとう

4月9日､各小中学校で入学式が行われました。

恩納小中学校では１年生が上級生と手をつないで笑顔で入場しました。中学校では新入生代表が「勉強や行事に積極的に取り組み、チャレンジ精神を忘れず頑張っていきたい」と抱負を述べました。今年は幼稚園86人、小学校106人、中学校106人が夢と希望を胸に新たな生活をスタートさせました。

2020年度に村内中学校が統合するため、小中学校合同の卒業式は今年度が最後となりました。